

社会福祉法人阪神福祉事業団西宮市山口町拠点施設等再整備事業  
発注者支援業務公募型プロポーザル評価要領

1 評価要領の位置付け

本要領は、社会福祉法人阪神福祉事業団西宮市山口町拠点施設等再整備事業発注者支援業務公募型プロポーザル実施要項に基づき、評価方法及び受託者の選定方法を示すものである。

2 評価方法及び受託者の選定方法

- (1) 客観評価、業務提案評価及び見積金額評価を行い、受託候補者を選定する。
- (2) 客観評価及び見積金額評価は、総務課が提出資料を元に審査を行う。
- (3) 業務提案評価は、「社会福祉法人阪神福祉事業団西宮市山口町拠点施設等再整備事業発注者支援業務委託プロポーザル選定委員会」（以下「委員会」という。）が業務提案書及びプレゼンテーション、ヒアリングにより審査を行う。
- (4) 各評価項目の評価配点は下記のとおりとする。

評価項目	評価配点	備考
客観評価	100点	
業務提案評価	300点	60点×委員5名
見積金額評価	40点	
総合計	440点	

- (5) 委員会は、評価点の総合計が最も高いものから受託候補者1者、次点候補者1者を選定する。

3 客観評価

客観評価における評価項目、判断基準及び配点は以下のとおりとする。

評価項目			判断基準		配点	
客観評価	(A) 参加者の 評価	ア 有資格者数	有資格者数を評価する。		10	
		イ 実績	実績の種類、件数について評価する。		20	
		小 計			30	
	(B) 業務担当 者の業務 実績	同種・類似業務 の実績（実績の 有無及び件数、 携わった立場）	次の順で評価する。 ①同種業務の実績 ②類似業務の実績	管理技術者	20	
				主任担当者	建築（総合）	10
					電気設備	10
					機械設備	10
					建設コスト管理	10
					工事施工計画	10
		小 計			70	
合 計			100			

- (1) 参加者の評価【最大30点】（様式3，4による）

参加者のCM業務部門に所属する有資格者数について評価を行う。

ア 有資格者数【最大10点】

有資格者数の評価は下記による。なお、有資格者数は、CCMJ、一級建築士等担当分野に応じた必要資格の有資格者数とする。

有資格者数（人）	評価点
50～	10.0
40～49	8.0
30～39	6.0
20～29	4.0
～19	2.0

イ 参加者の同種・類似業務実績【最大20点】

同種業務及び類似業務の実績（実績の有無及び件数）について評価を行う。平成28年4月1日以降に履行したCM業務実績各5件を1件当り基礎配点4点として、区分係数及び担当係数を乗じた点数を合計し、最大20点として評価する。なお、同種業務の実績が1件以上あること。

①実績件数と基礎配点

件数	基礎配点
5	4

②同種業務及び類似業務実績

実績	区分係数
同種業務	1.0
類似業務	0.8

③担当CMの実績

担当 CM	担当係数
3項目以上	1.0
2項目	0.75
1項目	0.5

※「担当CM」とは、基本計画段階、基本設計段階、実施設計段階、工事発注段階、工事段階のCMをそれぞれ1項目とし、担当した項目数の合計とする。

※ 評価点の計算は下表のとおりとなる。

基礎配点 A	区分係数 B		担当係数 C		評価点 A×B×C
(最大件数5) 4.0	同種	1.0	3項目以上	1.0	(5件で最大20.0) 最大評価点 4.0
			2項目	0.75	
	類似	0.8	1項目	0.5	

(2) 各業務担当者の業務実績【最大70点】（様式5）

同種業務及び類似業務の実績（実績の有無及び件数）について評価を行う。平成28年4月1日以降に履行したCM実績各5件につき1件当りの基本配点を管理技術者4.0点、各主任担当技術者2.0点として、区分係数及び担当係数を乗じた合計点数により評価する。

なお、建設コスト管理、工事施工計画の主任担当者が他の主任担当者と兼務するときは、建設コスト管理、工事施工計画の主任担当者の評価点に 0.5 の係数を乗じるものとする。

① 実績件数と基礎配点

最大件数	基礎配点
5	管理技術者 4.0 主任担当者 2.0

② 同種業務及び類似業務実績

実績	区分係数
同種業務	1.0
類似業務	0.8

③ 業務担当実績

過去の実績での立場	管理技術者	主任担当者
管理技術者又はこれに準ずる立場	1.0	1.0
主任担当者又はこれに準ずる立場	0.75	0.75
担当者又はこれに準ずる立場	0.5	0.5

※ 計算は下表のとおりとなる。

担当業務分野	基礎配点 A	区分係数 B		担当係数 C		評価点 A×B×C	合計
管理技術者	(最大件数 5) 4.0	同種	1.0	管理技術者	1.0	(5 件で最大 20.0) 最大評価点 4.0	70.0
				主任担当者	0.75		
		類似	0.8	担当者	0.5		
建築 (総合)	(最大件数 5) 2.0	同種	1.0	管理技術者	1.0	(5 件で最大 10.0) 最大評価点 2.0	
				主任担当者	0.75		
		類似	0.8	担当者	0.5		
電気設備	(最大件数 5) 2.0	同種	1.0	管理技術者	1.0	(5 件で最大 10.0) 最大評価点	

				主任担当者	0.75	2.0
		類似	0.8	担当者	0.5	
機械設備	(最大件数5) 2.0	同種	1.0	管理技術者	1.0	(5件で最大10.0) 最大評価点 2.0
				主任担当者	0.75	
		類似	0.8	担当者	0.5	
建設コスト 管理	(最大件数5) 2.0	同種	1.0	管理技術者	1.0	(5件で最大10.0) 最大評価点 2.0 (兼務のときは0.5 を乗じる)
				主任担当者	0.75	
		類似	0.8	担当者	0.5	
工事施工 計画	(最大件数5) 2.0	同種	1.0	管理技術者	1.0	(5件で最大10.0) 最大評価点 2.0 (兼務のときは0.5 を乗じる)
				主任担当者	0.75	
		類似	0.8	担当者	0.5	

#### 4 業務提案書評価

##### (1) 事前審査

提出された業務提案は、付属資料を添えて各委員へ事前に配布する。この際に客観評価及び見積金額評価の資料は添付しない。

##### (2) 業務提案評価方法

ア 業務提案は提案者の名を伏した上で、その内容についてのプレゼンテーション及びヒアリングの結果を含め、本要領に基づいて委員会が評価する。

イ 評価項目、評価基準、配点及び評価水準は、以下のとおりとする。

■業務提案（テーマ１～２）【最大 300 点（60 点×5 人）】（様式 6－１ 及び 6－２）

評価項目		評価基準 (テーマ毎に 評価する)	配点
【テーマ１】 業務実施にあたっての体制及び留意事項 (様式６－１)	本業務委託の実施体制及び留意事項について、以下の２項目を踏まえた内容となっているか。 ①取り組み方針と体制 ②担当チームの特徴・強味	①整備の整合性と理解度 ②実現性 (理論的な説得力等)	２つのテーマについて、各 ３０点満点で評価 (３０点×２テーマ)
【テーマ２】 ＤＢ事業者の選定方針及び工程計画 (様式６－２)	本業務委託の実施スケジュールについて、以下の３項目に基づいた内容となっているか。 ①ＤＢ事業者の選定スケジュールについて ②発注者支援業務の実施スケジュールについて ③工程管理に関する提案		
業務提案（２テーマ）に対する委員１人当たりの持ち点			60

評価水準	評価点
具体的な提案の的確性・実現性が極めて高い。	30
具体的な提案の的確性・実現性が高い。	24
具体的な提案の的確性・実現性がある。	18
具体的な提案の的確性・実現性がやや低い。	12
具体的な提案の的確性・実現性が低い。	6

5 見積金額評価【最大 40 点】（様式 7）

評価項目	評価基準	配点
参考見積書	提出された見積書（様式 7）の見積金額（税込）に、次の算出式により評価点を算出する。算出した評価点に端数が生じる場合は、小数点第 2 位を四捨五入する。 ※A＝（最低見積金額／提案見積額）×40	40

以 上